

2013年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	画像処理						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択必修科目(ネットワークコース)／選択科目(ソフトウェアコース)						
担当者	森 正壽						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画像処理における基本的な事項を把握し、現在各種の先端的分野で使用されている画像フォーマットの特徴を理解する。 ・ 画像フォーマットの取り扱い方、フォーマット変換の手法などを習得する。 ・ 種々の画像処理アルゴリズムを理解し、単純な幾何変換などは、専用ソフトを使用し実行できる。 ・ デジタルカメラで撮影した劣化画像をいかにして復元、画質の改善を図るか等、実践的に応用できる。 						
内容	4月11日 4月18日 4月25日 5月 2日 5月 9日 5月16日 5月23日 5月30日 6月 6日 6月13日 6月20日 6月27日 7月 4日 7月11日 7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・1. 概説・成績評価の方針説明 ・2. 量子化・標本化 ・3. 画像フォーマット、モノクロ・カラー画像 ・4. 加法混色、減法混色 ・5. 画像のヒストグラム ・6. ヒストグラム改善 ・7. 2値化、ポスタリゼーション、ソラリゼーション ・8. 演習:画像の入力、フォーマット、ヒストグラム表示 ・9. 領域・パターンマッチング ・10. パターン認識、分類 ・11. 中間試験 ・12. 演習・画質の向上 ・13. 中間試験解説、画像解像度 ・14. 画像の圧縮・符号化 ・15. 期末試験 					
成績評価基準	定期試験(70%)、臨時試験(20%)と授業中の演習(10%)の成績を総計して評価点とする。						
授業到達目標の達成度	画像における基本的な事項を理解し、画像処理の基本となる幾何変換、画像圧縮、2D画像、3D画像を理解することに関しては、ほぼ達成できていると判断される。簡単な画像処理ソフトを使用して、自分で基本的な画像処理を修得するという目標についても、提出されたレポートをみると、かなりの学生が修得しているのが判断できる。						
反省点	合格率が72%となっており、今後はさらに上がることを検討する必要がある。						
来年度の計画	来年度においては調整を行い、授業内容を厳選したいと考えている。						
授業評価アンケートに対するコメント	「もう少し演習を増して欲しいです」という要望があり来年は検討したい。						
履修登録者数	87名	定期試験 受験者数	72名	合格者数	52名	合格率	72%